

**USER'S
MANUAL**

11Mbps 無線LAN コンバータ

GW-EN11X

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN コンバータ

GW-EN11X

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

警告

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。

列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。

医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。

交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でのご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。

電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

- ・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- ・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2. 4 D S 4

■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り得てください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にご利用いただくために	2
第1章 はじめに	
1.概要	9
2.特長	10
3.梱包内容の確認	10
4.各部の名称	11
第2章 アダプタの設置	
1.設置場所について	15
2.設置	16
3.電源の接続	16
4.無線LAN コンバータとコンピュータの接続	17
第3章 無線LANコンバータを設定するための準備	
1.コンピュータの設定	19
第4章 WEBブラウザを使用した設定	
1.WEBブラウザからのアクセス	47
2.設定画面	49
第5章 Windows用設定ユーティリティを使用した設定	
1.セットアップ	61
2.ユーティリティの起動方法	65
3.ユーティリティによる設定	66
付録A 設置環境への注意	69
付録B 仕様	71
ユーザー登録について	74
弊社へのお問い合わせ	75
質問表	76
保証規定	78

はじめに

1 概要

GW-EN11Xは、LAN ポートを持つクライアントを無線LANに接続するための変換アダプタです。本製品を使用することで既存の有線LAN ネットワークに接続されていたクライアントを、シームレスに無線LAN に接続することが可能です。ハードウェア的に有線LAN を無線LAN に変換するため、OS 等に依存することなく利用可能です。また、プリントサーバ等のネットワーク機器で利用可能なほか、LAN ポートを備えたゲーム機も接続可能です。IEEE802.11/IEEE802.11bに準拠し、通信速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps に対応しています。ローミング機能により異なるAP間を移動しても再認識させること無く接続可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事により、より堅牢なセキュリティを保つことができます。

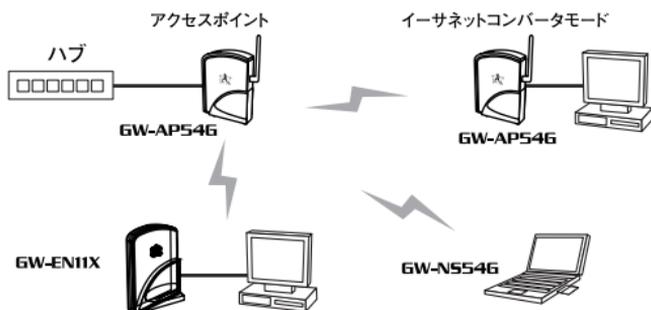


図1-1 無線LAN構築図

- IEEE802.11/802.11b 準拠
- IEEE802.3 10BASE-T 準拠
- ARIB STD-33A/STD-T66 準拠
- ノイズに強いDS-SS方式
- 免許が不要な2.4GHz周波数帯を使用（13ch）
- 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
- ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- 最大80mまでの通信距離（屋内使用時、見通し距離）※
- アンテナ内蔵のスリムデザイン
- ステータスが簡単に確認できる2つのLEDを装備
- ローミング機能に対応
- WEBブラウザによる簡単設定
- Windows専用セットアップユーティリティ付属
- 有線LANをハードウェア的に無線LANに変換
- LANポートを備えた各種ゲーム機に対応

※環境により、上記距離を満たせない場合があります。

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- GW-EN11X 本体
- AC電源アダプタ
- ユーティリティCD-ROM
- ユーザーズマニュアル（保証書付）
- LANケーブル（1m）

付属品が足りない場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

4 各部の名称

1

はじめに

■側面図

本製品側面にはステータスを表示する2つのLEDを備えています。

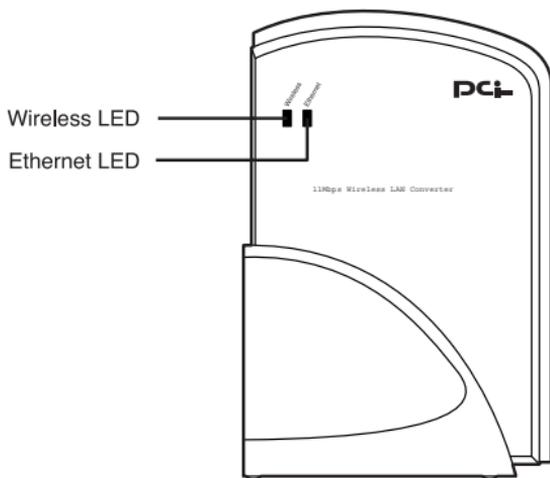


図1-2 GW-EN11X側面図

<Wireless LED>

無線LANの接続が確立すると緑色に点灯します。無線LANで通信中は点滅します。

<Ethernet LED>

ポートの接続が10Mbpsで確立すると緑色に点灯します。LANポートで通信中は点滅します。

■背面図

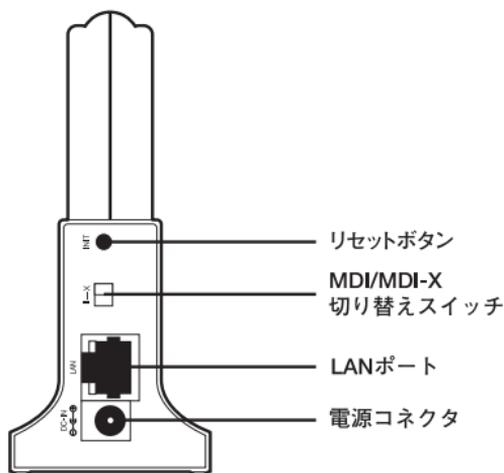


図1-3 GW-EN11X背面図

<電源コネクタ>

専用のAC電源アダプタを接続します。

<LANポート>

10BASE-Tツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。
アップリンクポートとして使用します。

<MDI/MDI-X切り替えスイッチ>

RJ-45ポートのクロス/ストレートを切り替えるスイッチです。

<リセットボタン>

初期化ボタンです。電源が入っている状態でこのボタンを数秒間押し続けると、設定が工場出荷時の状態に戻ります。

■裏面図

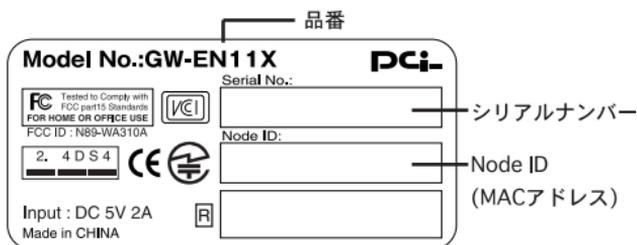


図1-4 GW-EN11X底面ステッカー

「品番」

本製品の品番です。

「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザー登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「Node ID (MACアドレス)」

本製品に固有のノードID (MACアドレス) が記載されています。

アダプタの設置

1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点に注意してください。

- 湿気の多い場所に設置しない。
- チリやほこりの多い場所には設置しない。
- 直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない。
- 内部に熱がこもる原因となるため、周囲にはなるべく空間を空ける。

2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用してください。

2

アダプタの設置

3 電源の接続

1. 本製品背面の電源コネクタに付属のAC電源アダプタを接続します。
2. AC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。

注意

AC電源アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のAC電源アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のAC電源アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4 無線LANコンバータとコンピュータの接続

本製品は有線LANクライアントに直接LANケーブルで接続して使用します。

1. ストレートタイプのLANケーブルを用意してください。ケーブルの最大長は100mです。
2. 背面にあるMDI/MDI-X切り替えスイッチをXに合わせます。
3. LANケーブルの一端をクライアントのLANポート（RJ-45）に差し込みます。
4. LANケーブルのもう一端を本製品のLANポートに接続します。接続先の機器が正しく動作していれば、本製品側面Ethernet LEDが点灯します。

注意

- コンピュータへ接続する場合には必ず切り替えスイッチをXに合わせてください。クロスケーブルを使用してコンピュータと接続する場合には、IIにスイッチを合わせてください。コンピュータ以外のネットワーク機器に接続する場合には、機器によってはIIにスイッチを切り替える必要があります。
- 本製品は1台のクライアントのみを無線LANに接続するためのアダプタです。ハブ等の機器を通して複数のクライアントを無線LANに接続させることはできません。

2

アダプタの設置

無線LANコンバータを 設定するための準備

この章では無線LANコンバータを設定するためのコンピュータの設定について説明します。本製品の設定はWEBブラウザ上からおこないます。本章の手順に従って使用するコンピュータのネットワーク設定をおこなってください。

1 コンピュータの設定

ここでは各OS毎の設定について説明します。使用するOSの説明を参照して設定をおこなってください。

■Windows 98SE/Me

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に動作されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」が表示されます。「ネットワーク」をダブルクリックします。



ダブルクリックします

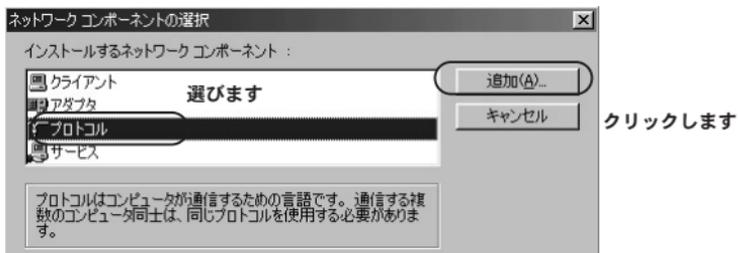
3. 「ネットワーク」が表示されます。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「Microsoft ネットワーク クライアント」、「TCP/IP」、「Microsoft ネットワーク共有サービス」が表示されているか確認します。

表示されていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加します。すでに「Microsoft ネットワーク クライアント」、「TCP/IP」、「Microsoft ネットワーク共有サービス」が表示されている場合は「7」へ進みます。

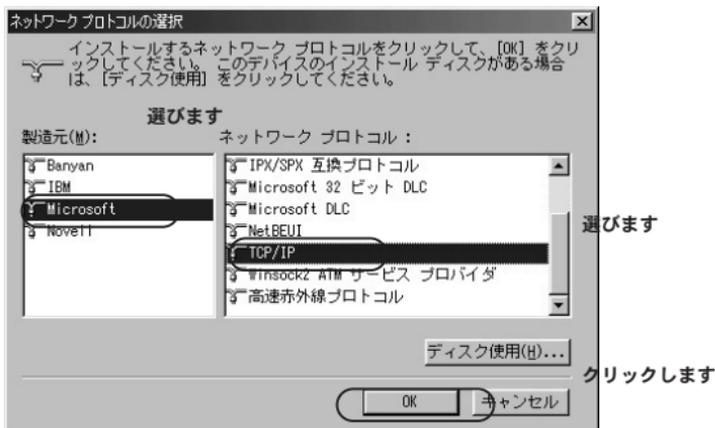


確認します

4. 「ネットワーク」内の「追加」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」が表示されます。「プロトコル」を選び「追加」をクリックします。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。「製造元」から「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選び「OK」をクリックします。



6. 「ネットワーク」に戻ります。「現在のネットワークコンポーネント」欄に「TCP/IP」が追加されたか確認します。

「Microsoft ネットワーク クライアント」、「Microsoft ネットワーク 共有サービス」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から必要なファイルをインストールします。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。



確認します

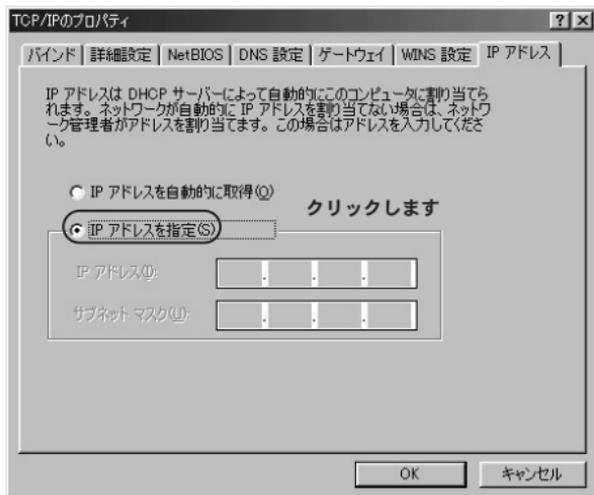
7. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「現在のネットワークコンポーネント」欄の「TCP/IP」を選び、「プロパティ」をクリックします。



クリックします

8. 「TCP/IPのプロパティ」が表示されます。「IPアドレス」のタブをクリックします。

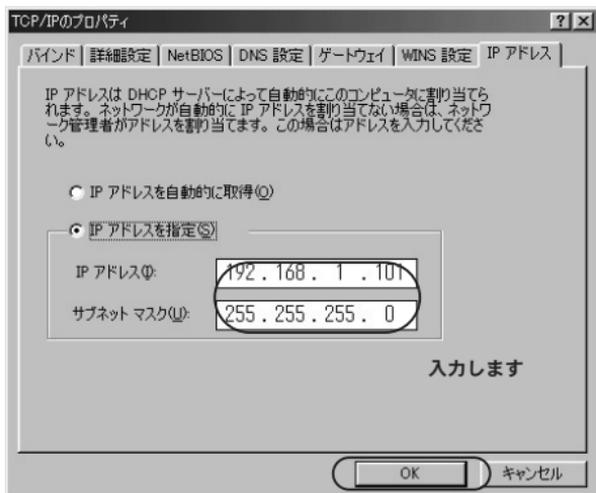
初期設定では「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「IPアドレスを指定」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割り当てをおこなっているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。

9. IPアドレスに「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」に設定します。「OK」をクリックします。



クリックします

10. 「ネットワーク」に戻ります。「OK」をクリックし画面を閉じます。再起動の要求メッセージが出ますので「はい」をクリックして再起動します。

▲ 注意

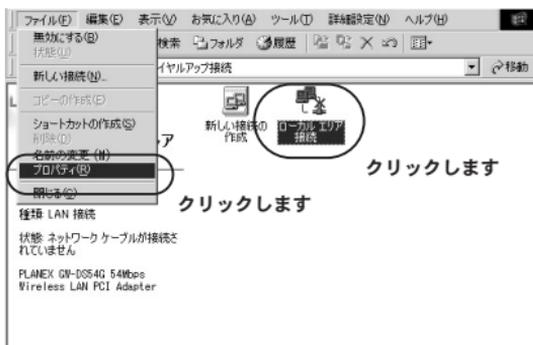
IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」の場合、2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」のように設定してください。

■Windows 2000

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に動作されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」が表示されます。「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

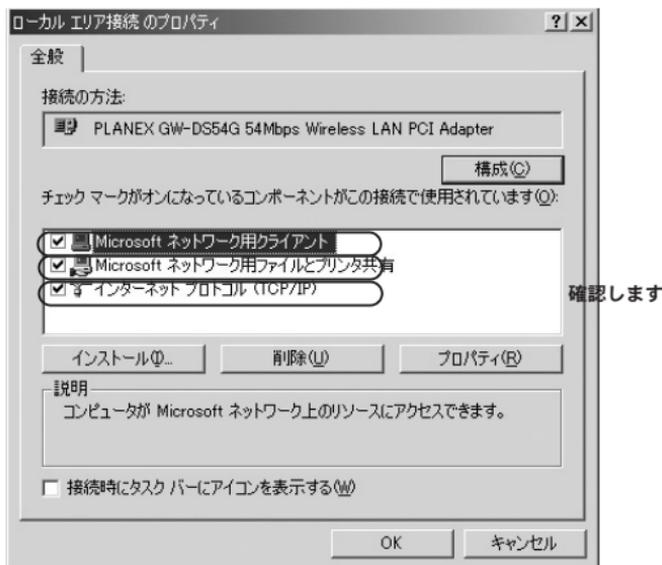


3. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」が表示されます。「ローカルエリア接続」をクリックし「ファイル」から「プロパティ」をクリックします。

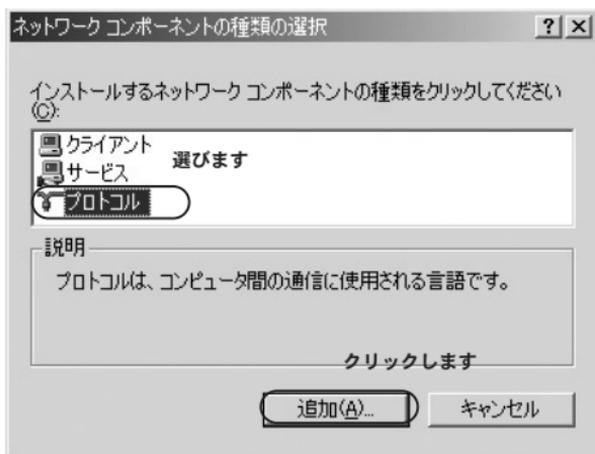


4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。
「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されているか確認します。

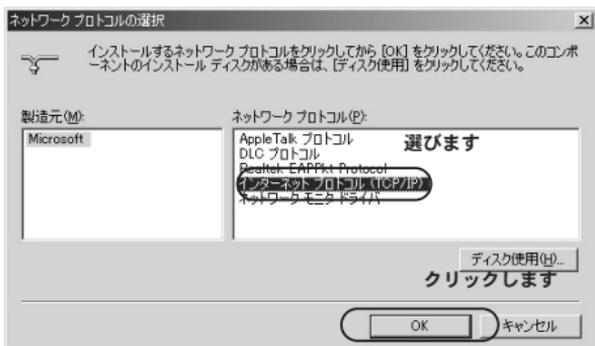
表示されていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加します。すでに「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「TCP/IP」が表示されている場合は「8」へ進みます。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」内の「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類を選択」が表示されます。
「プロトコル」を選び「追加」をクリックします。



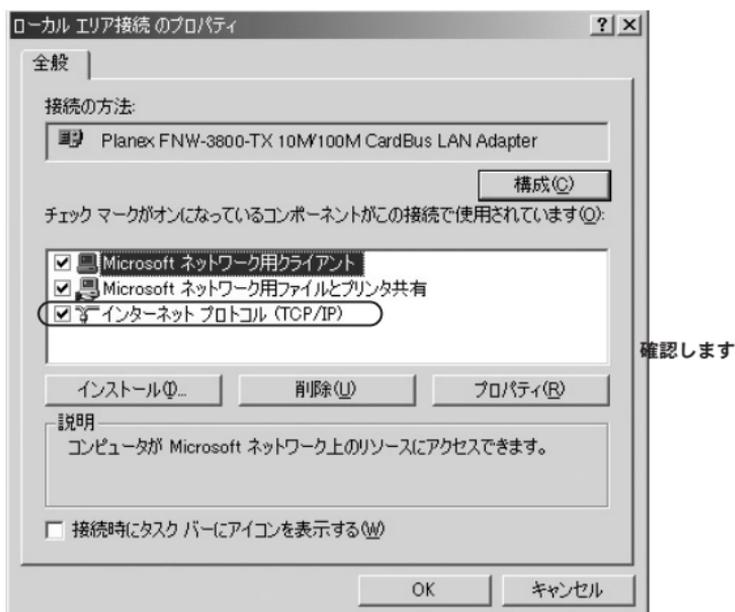
6. 「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。
「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選び「OK」をクリックします。



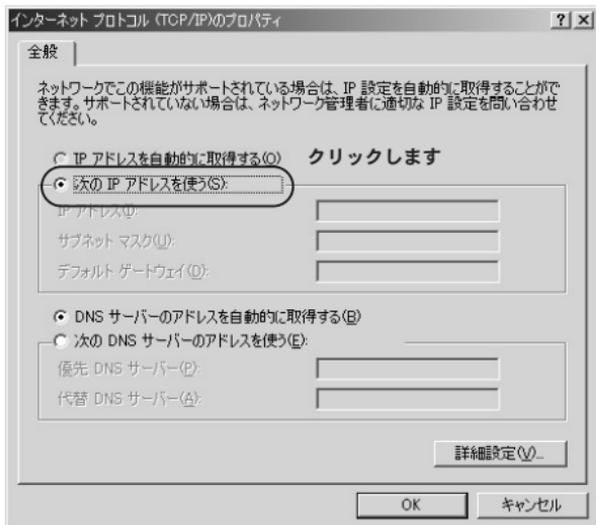
7. 「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が追加されたか確認します。

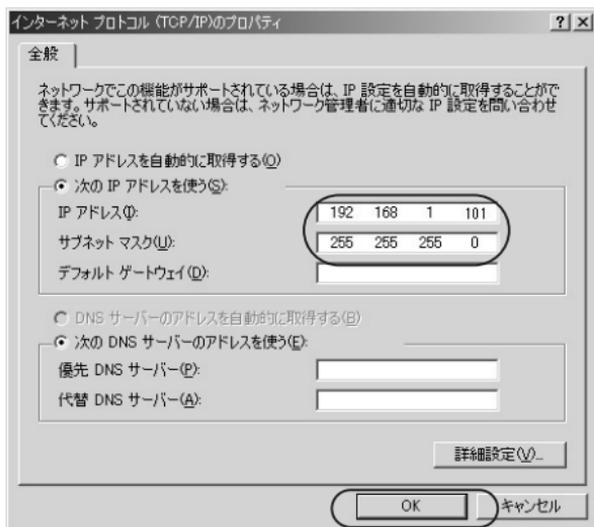
「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から必要なファイルをインストールします。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。



8. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。
「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選び「プロパティ」をクリックします。
9. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。



10. 「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」に設定します。「OK」をクリックします。



入力します

クリックします

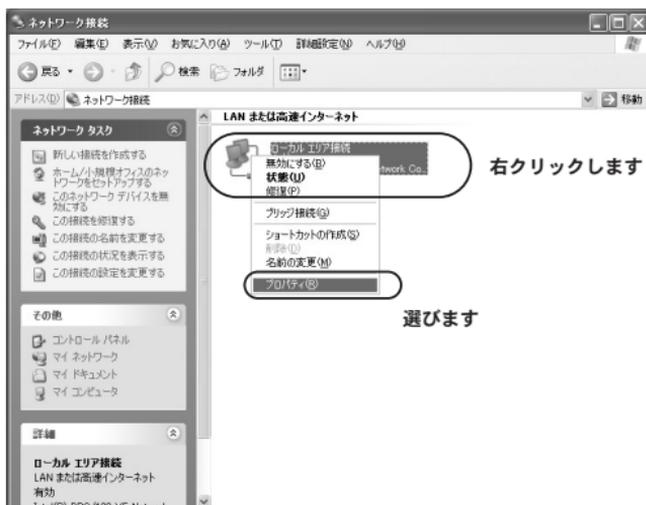
11. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の「OK」をクリックし画面を閉じます。再起動を要求されたときは再起動してください。

注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」の場合、2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。

■Windows XP

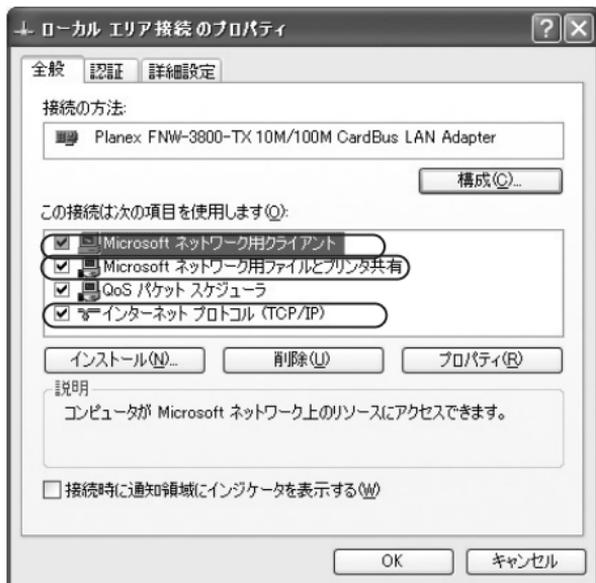
1. 「スタート」→「ネットワーク接続」を選びます。
2. 「ネットワーク接続」が表示されます。「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選びます。



3. 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

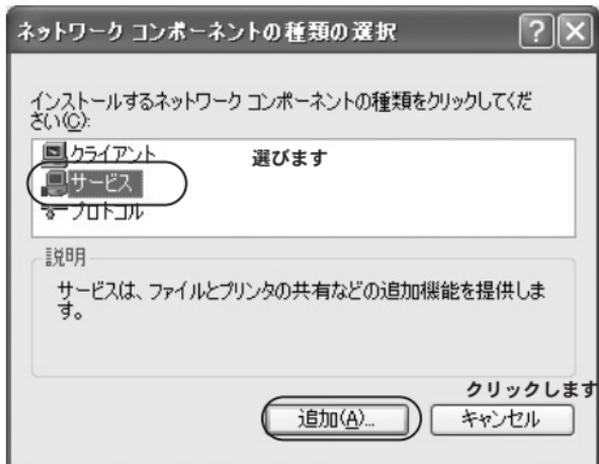
「この接続は次の項目を使用します」の欄に「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認します。

表示されていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加します。すでに「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されている場合は「7」へ進みます。

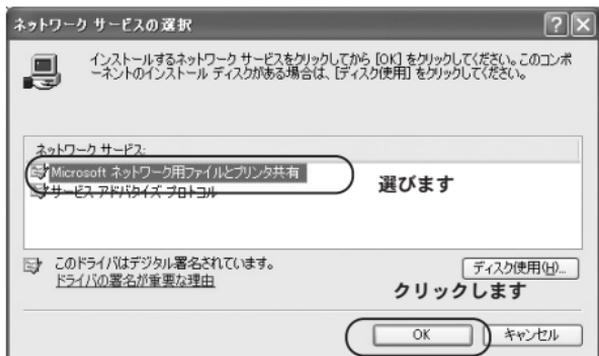


確認します

4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」内の「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類を選択」が表示されます。
「サービス」を選び「追加」をクリックします。



5. 「ネットワークサービスの選択」が表示されます。「ネットワークサービス」から「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」を選び「OK」をクリックします。



6. 「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。
「この接続は次の項目を使用します」の欄に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。

「Microsoft ネットワーク用クライアント」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」から必要なファイルをインストールします。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。

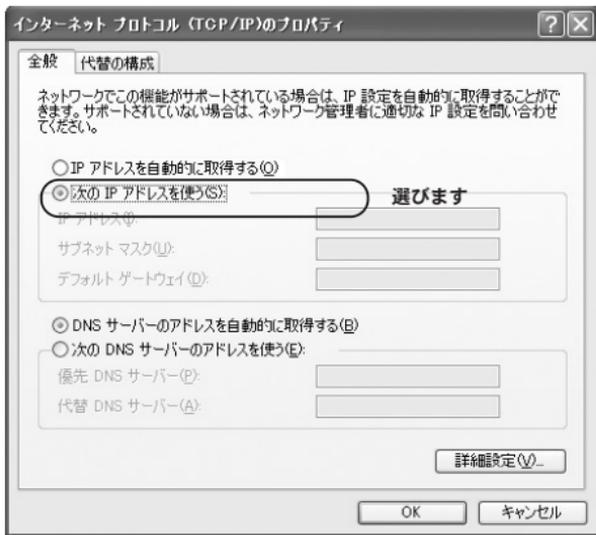


確認します

7. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選び「プロパティ」をクリックします。

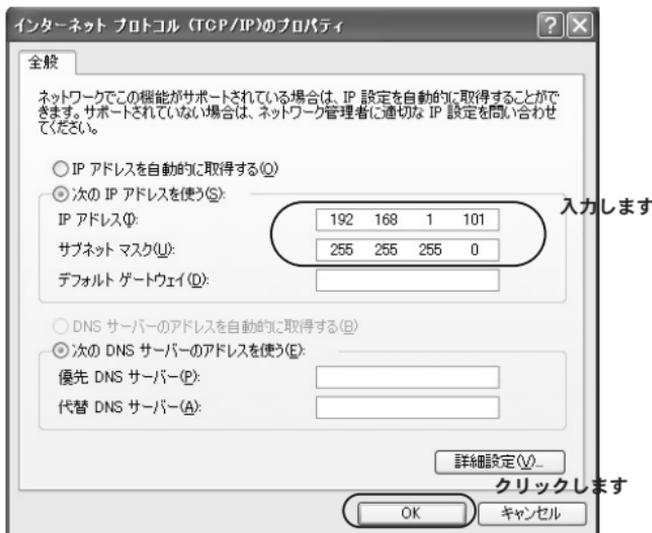
8. 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。



注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割り当てをおこなっているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

9. 「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」に設定します。「OK」をクリックします。



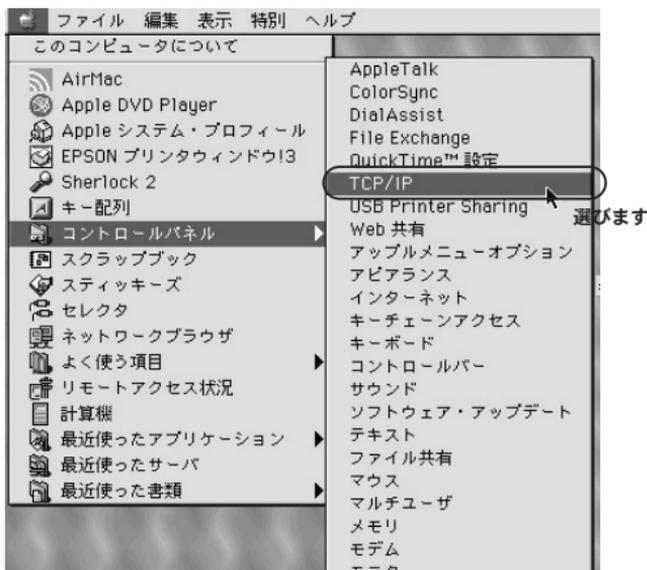
⚠ 注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」の場合、2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」のように設定してください。

■Macintosh

Mac OS 9.xをお使いの場合

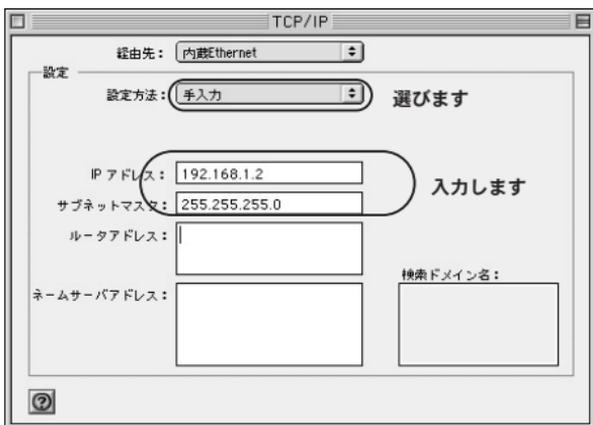
1. 「アップルメニュー」から「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選びます。



2. TCP/IPの設定ウィンドウが表示されますので、「経路先」→「Ethernet」を選びます。

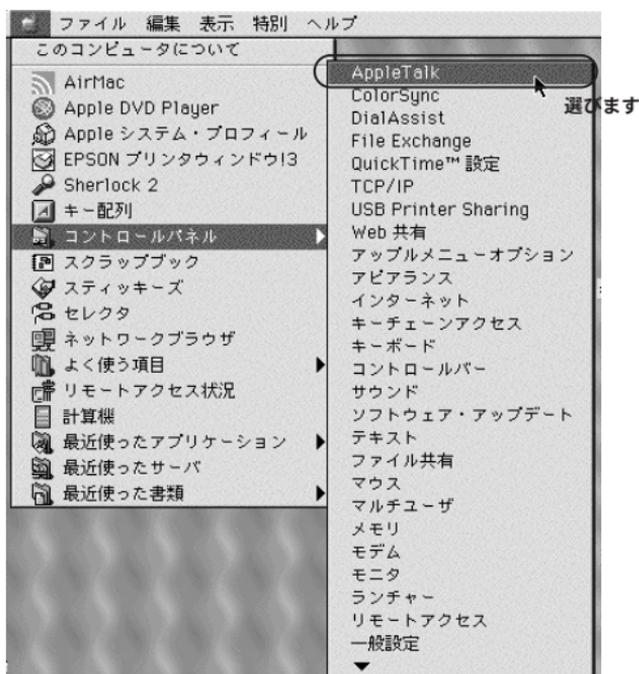
3. 次に「設定方法」から「手入力」を選び、「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

この例ではIPアドレスを「192.168.1.2」に設定します。



4. ウィンドウを閉じると「変更内容を現在の設定に変更しますか？」とダイアログボックスが表示されますので「保存」をクリックします。

5. 「アップルメニュー」から「コントロールパネル」→「AppleTalk」を選びます。



3

無線LANコンピュータを設定するための準備

6. 「経路先」から「Ethernet」を選びウィンドウを閉じます。「変更内容を現在の設定に変更しますか？」とダイアログボックスが表示されますので「保存」をクリックします。



⚠ 注意

ダイアログボックスの中で「現在使用中のAppleTalkサービスを中断します」と表示される場合は、それまで使用していたネットワークアダプタと異なるものに設定しようとしているか、上記の設定に間違いがありますので、「保存しない」をクリックし、確認してください。設定に間違いがなければ「保存」をクリックしてください。

MacOS Xをお使いの場合

1. 「アップルメニュー」から「システム環境設定」を選びます。



2. 「システム環境設定」が表示されますので「ネットワーク」をクリックします。



3. 「表示」から「Ethernet」を選び、「TCP/IP」タブを選びます。
4. 「設定」から「手入力」を選び、「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

この例ではIPアドレスを「192.168.1.2」に設定します。



5. 「AppleTalk」タブを選び、「AppleTalk使用」にチェックを入れます。
6. 「今すぐ適用」をクリックし、ウィンドウを閉じてMacintoshを再起動します。

3

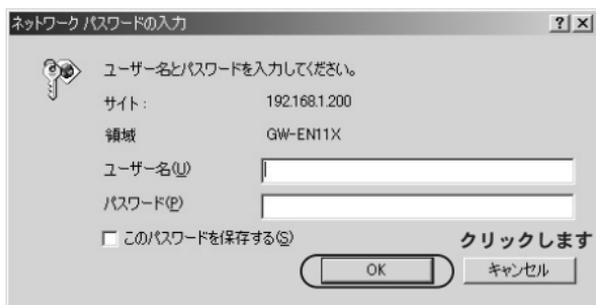
無線LANコンバータを設定するための準備

WEBブラウザを使用した設定

本 製品はWebブラウザによる設定をサポートしています。
Windows以外のOSをご利用の場合はWebインタフェースから設定をおこないます。

1 WEBブラウザからのアクセス

1. コンピュータのWEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザの「場所」または「アドレス」に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.200」を入力し、Enterキーを押します。
3. 本製品のログインダイアログボックスが表示されますので、ユーザー名とパスワードを空欄のまま「OK」をクリックします。



4. 本製品のWEB設定画面が表示されます。



注意

WEB設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

- ・コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作しているか確認してください。WindowsではデバイスマネージャでLANカードが正常に動作しているか確認してください。
- ・コンピュータまたはLANカードのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
- ・コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を確認してください。
- ・使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示 (ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」、Netscapeでは「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。

2 設定画面

■情報

上部の「情報」タブをクリックすると表示されます。また、WEB設定画面にアクセスしたときに最初に表示される画面です。本製品の基本情報が表示されます。

情報	本製品の情報です。 注意: 現在の設定を表示させるには、ページを更新してください。
接続先 SSID:	wireless
チャンネル:	10
BSSID:	00-02-DD-43-38-6E
送信速度 (Mbps):	11
通信品質 (%):	100
MAC アドレス:	00-02-DD-81-17-63
IP アドレス:	192.168.1.200
ファームウェア ver:	1.0.5
ワイヤレス ver:	1.30

「接続先SSID」：

接続している無線LANのESSIDです。“non-specified SSID!”と表示される場合は無線LANのリンクが切断されていることを示します。

「チャンネル」：

現在使用しているチャンネル番号です。

「BSSID」：

現在接続しているアクセスポイントのBSSIDです。通常はアクセスポイントのMACアドレスと同じ値が表示されます。“44-44-44-44-44-44”と表示される場合は無線LANのリンクが切断されていることを示します。

「送信速度」：
現在の送信速度を表示します。

「通信品質」：
現在の通信品質を表示します。

「MACアドレス」：
本製品のMACアドレスです。

「IPアドレス」：
現在設定されているIPアドレスを表示します。

「ファームウェアver」：
現在のファームウェアバージョンを表示します。

「ワイヤレスver:」
現在のワイヤレスファームウェアバージョンを表示します。

4

WEBブラウザを使用した設定

■無線設定

上部の〔無線〕タブをクリックすると表示されます。本製品の無線LANの設定をおこないます。

無線設定

本製品の無線設定を行います。
変更した設定を有効にするには、本製品を再起動してください。
注意：現在の設定を表示させるには、ページを更新してください。

ネットワークタイプ: アドホック インフラストラクチャ

ESSID:

チャンネル:

送信速度: (Mbps)

アクセスポイント密度:

WEPを有効にする:

WEPキー長:

64bitを使用するときはキーに10桁の16進数を入力します。
128bitを使用するときはキーに26桁の16進数を入力します。
キーを空白にした場合には全ての桁が0で入力されたこととなります。

デフォルトキー:

WEP キー 1:

WEP キー 2:

WEP キー 3:

WEP キー 4:

シェアードキーで認証する: (WEP有効時に使用)

「ネットワークタイプ」:

無線LANの接続方式を設定します。アクセスポイントを経由してネットワークにアクセスする場合にはインフラストラクチャを選びます。無線クライアント同士で直接通信する場合にはアドホックを選びます。

「ESSID」：

ESSIDは手動で入力するか、あるいは一覧から選びます。一覧から選択する場合は「サイトサーベイ」をクリックします。接続するアクセスポイントと同じESSIDに設定することで、クライアントは任意のアクセスポイントとのみ接続します。ESSIDを空欄にするとESSIDをANYに設定することになり、アクセスポイントのESSIDに関係なく一番電波状態のよいアクセスポイントと接続します。

「サイトサーベイ」

接続可能な無線LAN機器の一覧を表示するときにクリックします。表示された一覧から接続したい機器のSSIDをクリックします。確認ダイアログボックスが表示されますので「OK」をクリックします。ただし接続する機器にWEP暗号化が使用されている場合は「接続するにはWEPキーを入力してください」と表示されますので「OK」をクリックし、本製品に接続先と同一のWEP設定をおこなってください。



「チャンネル」：

アドホックモードに設定した場合は使用するチャンネルを選びます。接続する無線機器と同じチャンネルを選びます。同一チャンネルを使用している機器同士でなければ接続できません。

「送信速度」：

本製品の送信速度を設定します。「自動」を選択すると自動的に最適な速度で通信をおこなうことができます。

「アクセスポイント密度」：

インフラストラクチャモードに設定した場合は、近隣のアクセスポイントの数に応じて「アクセスポイント密度」を設定することでチャンネルの重複や干渉を低減することができます。1～2台の場合には「低」を3～4台では「中」を、5台以上の場合には「高」に設定します。

「WEPを有効にする」：

WEPによる暗号化をおこなう場合にはチェックボックスをオンにします。

「WEPキー長」：

WEPキー長を64bitまたは128bitから選びます。128bitのWEPキーの方が強固なセキュリティですが、スループットが下がります。

「デフォルトキー」：

使用するWEPキーを指定します。

「WEPキー」：

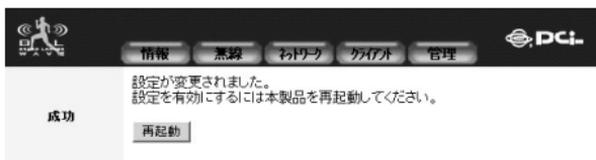
WEPキーは4つまで設定できます。使用するWEPキーを「デフォルトキー」から選びます。

64bitのWEPを使用するときはキーに10桁の16進数を入力します。128bitのWEPを使用するときはキーに26桁の16進数を入力します。キーを空白にした場合には全ての桁が0で入力されたことになります。WEPキーは接続する無線機器と同じWEPキーを入力する必要があります。

「シェアードキーで認証する」：

WEPキーの認証アルゴリズムを設定します。チェックボックスをオンにした場合にはシェアードキーでWEPを認証します。オフにするとオープンシステムで認証します。

設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックします。「成功」画面が表示されますので、[再起動] をクリックします。再起動後に設定が反映されます。



■ネットワーク

上部の「ネットワーク」タブをクリックすると表示されます。
本製品のネットワークの設定をおこないます。

情報 無線 ネットワーク クラウド 管理 DCI

ネットワーク設定

本製品のIPアドレスを設定します。WEBブラウザによる設定やTFTPサーバ機能を使用するためにはIPアドレスの設定が必要になります。

IPアドレスの設定後、本製品を再起動してください。

設定方法: 固定 DHCP

IP アドレス:

サブネットマスク:

ゲートウェイ:

デバイス名:

アップグレードの許可:

MACアドレスのコピー:

MACアドレスのコピー機能を有効にすると、接続しているLAN側クライアントのMACアドレスを本製品が利用します。

保存 キャンセル

「設定方法」：

IPアドレスの設定方法を指定します。IPアドレスを固定で割り当てる場合には「固定」を選び、DHCPサーバからIPを取得する場合には「DHCP」を選びます。

「IPアドレス」：

IPアドレスを固定する場合にはここにIPアドレスを入力します。

「サブネットマスク」：

IPアドレスを固定する場合にはここにサブネットマスクを入力します。

「ゲートウェイ」：

IPアドレスを固定する場合にはここにデフォルトゲートウェイを入力します。

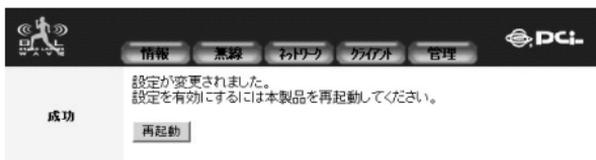
「デバイス名」：

本製品を識別するために任意の名前を入力できます。複数の無線LAN製品をご利用の場合は個別の名前を設定することを推奨します。デフォルトでは「GW-EN11X」に設定されています。

「アップグレードの許可」：

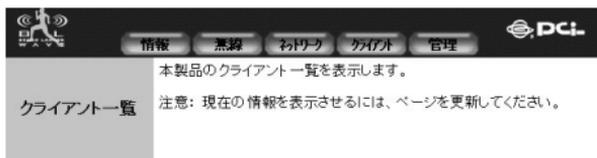
ファームウェアのアップグレードをおこなう場合はチェックボックスをオンにします。ファームウェアのアップグレードを禁止する場合には、オフにします。

設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックします。「成功」画面が表示されますので、[再起動] をクリックします。再起動後に設定が反映されます。



■クライアント一覧

上部の「クライアント」タブをクリックすると表示されます。
本製品に接続している有線LANクライアントのIPアドレスとMACアドレスを表示します。



クライアント一覧

IP アドレス	MAC アドレス
192.168.1.xxx	00-80-45-12-xx-xx

注意

本製品に接続が可能な有線LANクライアントは1台のみです。ハブなどを使用して複数台のクライアントを接続することはできません。

■管理画面

上部の「管理」タブをクリックすると表示されます。本製品の管理者用の設定をおこないます。

The screenshot shows a management interface with a dark header containing navigation tabs: 情報 (Information), 無線 (Wireless), ネットワーク (Network), クイック (Quick), and 管理 (Management). The DCI logo is on the right. The main content area is divided into sections:

- 管理 (Management):** Contains instructions: "本製品の管理設定を行います。" and "設定の変更を行った場合は、本製品を再起動してください。"
- ユーザ名 (User Name):** A text input field.
- パスワードの変更 (Change Password):** Two text input fields. The first is labeled "(新しいパスワード)" and the second is labeled "(パスワードの確認)".
- コマンド (Commands):** Includes "本製品の再起動 (Restart Product)" with a "再起動" button and "デフォルト設定に戻す (Reset to Default Settings)" with a "リセット" button.

At the bottom right of the form are "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel) buttons.

「ユーザ名」：

本製品のログイン用ユーザ名を設定します。デフォルトではユーザ名は設定されていません。

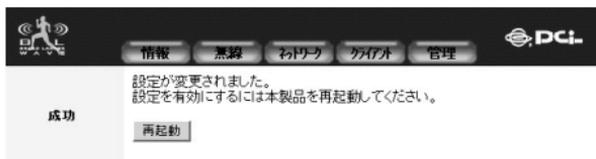
「パスワードの変更」：

本製品のログイン用パスワードを設定します。「新しいパスワード」と「パスワードの確認」に設定するパスワードを入力します。デフォルトではパスワードは設定されていません。

設定が終了したら、「保存」をクリックします。「成功」画面が表示され、再起動が終わったら設定が反映されます。

「本製品の再起動」：

本製品の再起動をする場合は〔再起動〕をクリックします。確認ダイアログボックスが表示されますので〔OK〕をクリックします。設定を変更後には必ず再起動をおこなってください。



「デフォルト設定に戻す」：

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻します。〔リセット〕をクリックすると確認ダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックすると設定が工場出荷時の状態に戻ります。

4

WEBブラウザを使用した設定

Windows用設定ユーティリティを 使用した設定

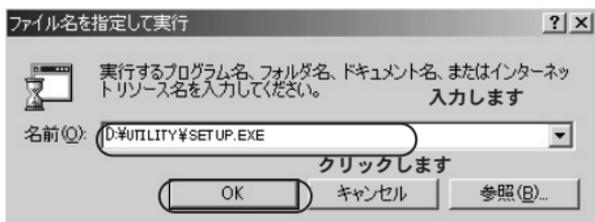
本 製品は付属のWindows用ユーティリティを使用して設定をおこなうことができます。ここでは設定手順について説明します。

1 セットアップ

ここではWindows用設定ユーティリティのインストール手順について説明します。

1. 本製品付属のユーティリティCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
2. 「スタート」→「ファイル名を選んで実行」を選びます。

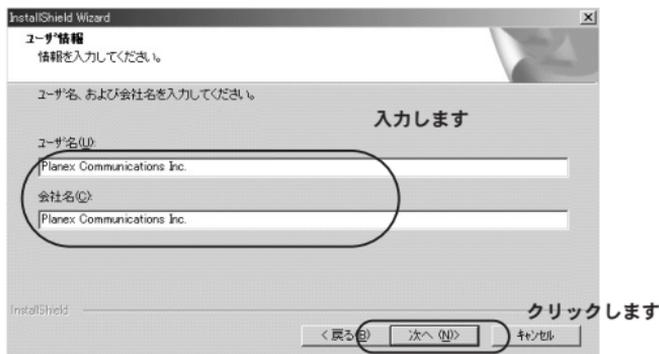
3. 名前にD:\utility\setup.exe（CD-ROMドライブがDドライブの場合）を入力し [OK] をクリックします。



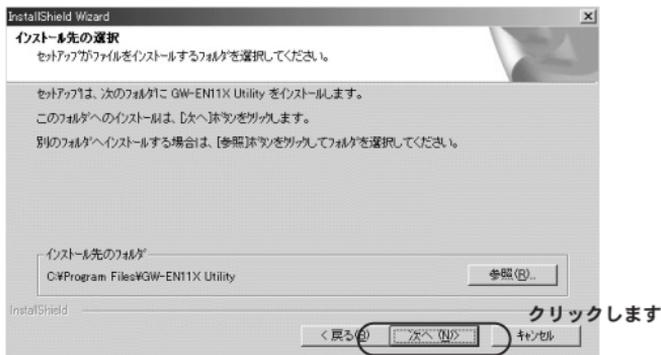
4. 設定ユーティリティのインストーラーが起動します。[次へ] をクリックします。



5. 「ユーザ名」と「会社名」を入力するウィンドウが表示されますので、任意の名前を入力します。[次へ] をクリックします。



6. インストール先のフォルダを指定するウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合には [参照] をクリックします。[次へ] をクリックします。



7. スタートメニューへの登録名を入力するウィンドウが表示されます。[次へ] をクリックします。



5. インストールが開始されます。インストール完了のウィンドウが表示されたら [完了] をクリックします。

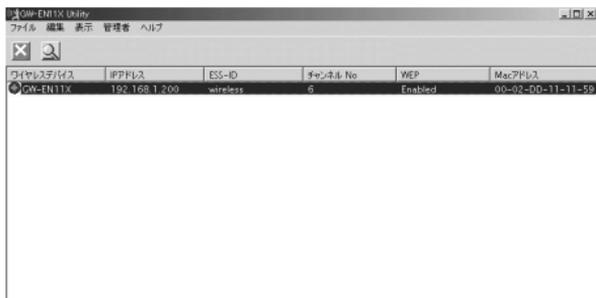


インストールはこれで完了です。

2 ユーティリティの起動方法

ここでは本製品の起動方法について説明します。

1. 「スタート」メニューから「プログラム」→「BROAD LAN-NER WAVE」→「PLANEX GW-EN11X Utility」を選びます。
2. GW-EN11X設定ユーティリティが起動します。自動的にネットワーク上の無線LANが検索され一覧が表示されます。



注意

一覧に何も表示されない場合は第3章を参照にしてIPアドレスの確認をしてください。

3 ユーティリティによる設定

ここではユーティリティを使用して設定できることについて説明します。

◎WEBブラウザによる設定画面の表示

表示されているワイヤレスデバイス一覧から設定画面を表示させたいデバイスをダブルクリックします。自動的にWEBブラウザが起動して設定画面が表示されます。

◎ワイヤレスデバイスの検索

ツールバーの [編集] から [検索] を選びます。ネットワーク上にあるワイヤレスデバイスが検索され一覧表示されます。デバイスが表示されない場合は、デバイスとコンピュータのサブネットが範囲外の場合があります。IPアドレスの確認をしてから再度検索してください。

◎IPアドレスの設定

ツールバーの [管理者] から [IPアドレス設定] を選びます。IPアドレスの設定画面が表示されます。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合は [DHCP有効] を選びます。IPアドレスを固定で設定する場合は [固定設定] を選び、IPアドレスを入力します。新しいIPアドレスは再起動後に有効になります。

◎ファームウェアのアップデート

ツールバーの [管理者] からファームウェアのアップデートを選びます。アップデート画面が表示されますので、ファームウェアファイルをフルパスで指定、あるいは右側のやじるしをクリックしてファームウェアファイルを指定し「OK」をクリックします。ファームウェアのアップデートが開始され、本製品が自動的に再起動します。

5

Windows用設定ユーティリティを使用した設定

設置環境への注意

無線LAN はケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信できないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうにはできる限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
木材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

仕様

B

仕様

項目	説明	
品名	11Mbps 無線LAN コンバータ	
型番	GW-EN11X	
準拠する規格	無線部	IEEE802.11/802.11b、 ARIB STD-33A/STD-T66準拠
	有線部	IEEE 802.3 10BASE-T イーサネット
通信速度	無線部	11/5.5/2/1Mbps 自動認識
	有線部	10Mbps
ネットワークケーブル	10BASE-T カテゴリ3、4、5ツイストペアケーブル (最大100m)	
周波数帯	2.4～2.497GHz	
チャンネル	1～13ch	
通信距離	80m (屋内使用時、見通し距離) ※	
アンテナタイプ	内蔵チップアンテナ	
インターフェース	RJ-45 MDI/MDI-X 10BASE-T	
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散方式 (DS-SS)	
LED	Ethernet, Wireless	
消費電力	2W (最大)	
外形寸法	109(W)×76(H)×44.5(D)mm (アンテナ部除く)	
重量	100g	
動作温度	0～40℃	
動作湿度	35～85% (結露しないこと)	
EMI	CE、FCC ClassB、VCCI Class B	

※環境により記載距離を満たせない場合があります。

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注)上記内容は2003年10月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名	11Mbps 無線LAN コンバータ
型番 Product No.	GW-EN11X
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

ブラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-5614-1018

<http://www.planex.co.jp/support/repair/>

2. ご案内に従って修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。

（誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします）

3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧下さい ●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線LAN コンバータ
型番 Product No.	GW-EN11X
製造番号 Serial No.	

フリガナ 会社名	
部署名	
フリガナ お名前	
フリガナ ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

プラネックスコミュニケーションズ株式会社